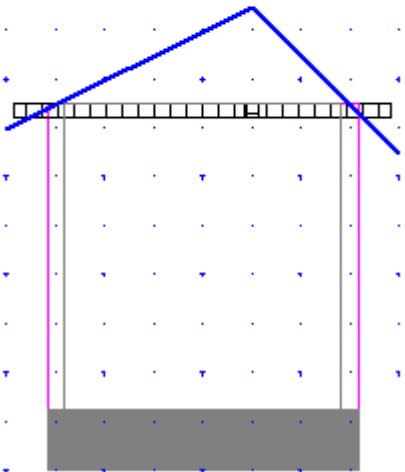
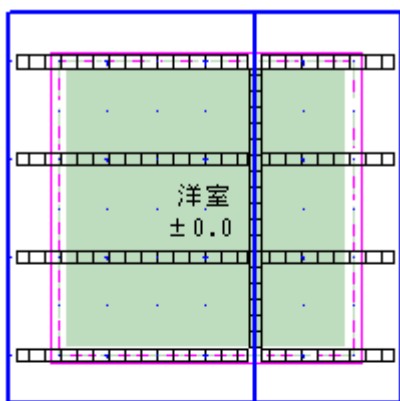
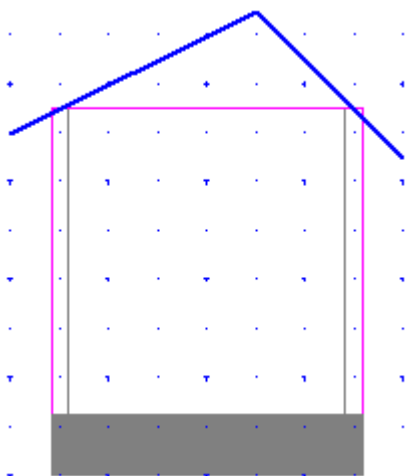
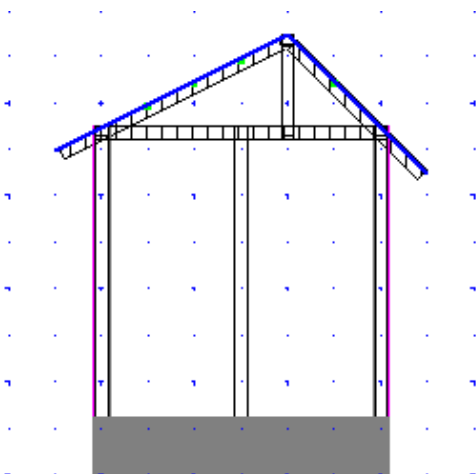


登り梁の入力例



本資料は登り梁入力例の手順を示したものです。

注意事項

- ・ 荷重伝達用の母屋（ダミー）の入力が必要です。母屋がないと、登り梁には屋根荷重がかかりません。
- ・ 部材のZ座標を一致させなければなりません。
- ・ 登り梁を受ける棟木は梁で入力します。（母屋では入力できません）
- ・ 合掌造りに対応していません。
- ・ 大屋根にかかる（階をまたぐ）勾配梁には対応していません。

プランまで入力しておきます。

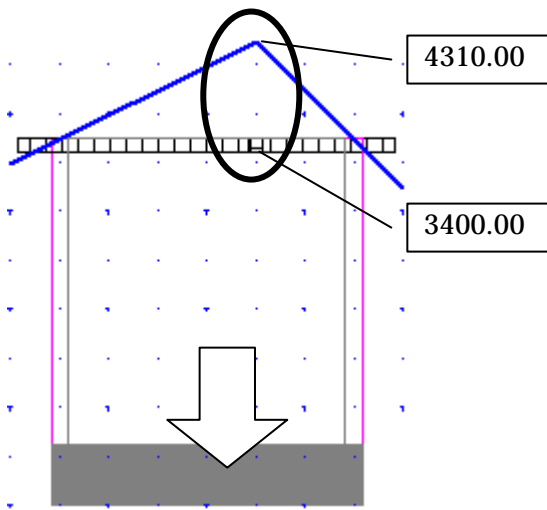
立面表示に切り替え、屋根を確認します。

屋根座標がずれていると、登り梁が正確に入力できません。

「上部構造」タブの「梁」アイコンをクリッククリッシュ、登り梁（座標変更の必要がある梁）を先に入力します。

梁のタイプは「勾配梁」にします。

立面表示に切り替えて、梁の配置を確認します。



登り梁の編集を行います。

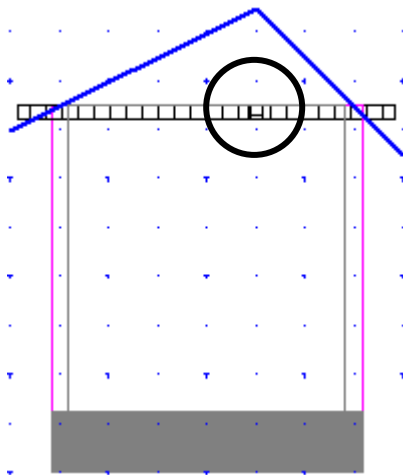
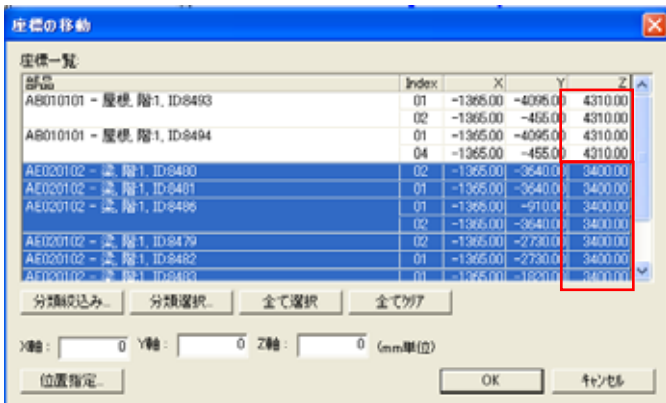
(1) Z 座標を確認します。右クリックし、「座標移動」を選択し、左図の楕円に位置を囲むように、左クリックでドラッグします。

(2)座標の移動一覧表に、屋根の Z 座標 = 4310.00mm
梁の Z 座標 = 3400.00mm
であることが確認できます。
登り梁端部の Z 座標を 910.00mm 上げる
ことになります。
「座標の移動」画面を「キャンセル」で閉じます。

座標の移動方法は 2 種類があります。

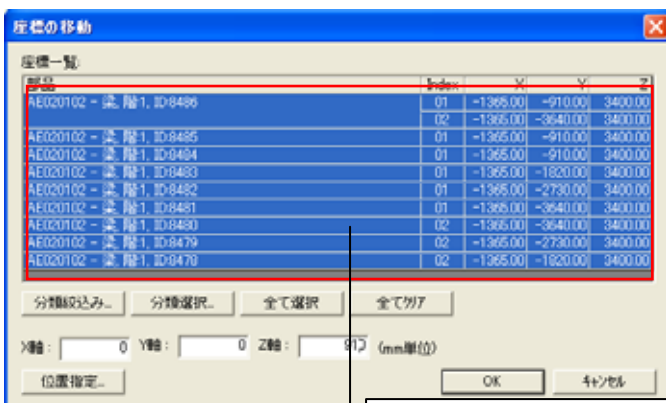
(1)「座標の移動」一覧表に Z 座標の差分を指定する方法。

(2)梁のプロパティに Z 座標を直接編集する方法。



方法 1 の「座標移動」機能による編集方法で登り梁の高い側の座標を修正します。

左図の円の位置を囲むように左クリックでドラッグします。

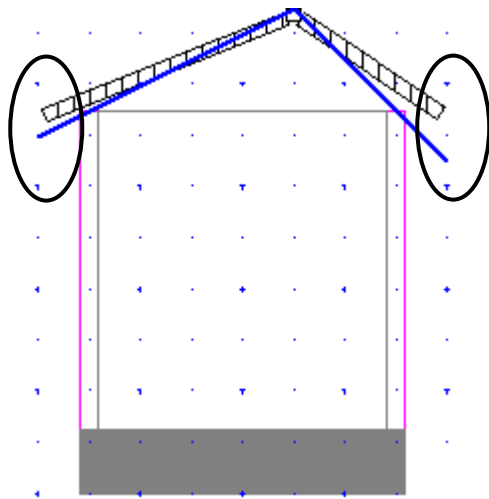


編集する梁部材が選択されていることを確認してから、「座標の移動」一覧表の下にある Z 軸 : [](mm 単位)欄に「910」を入力します。

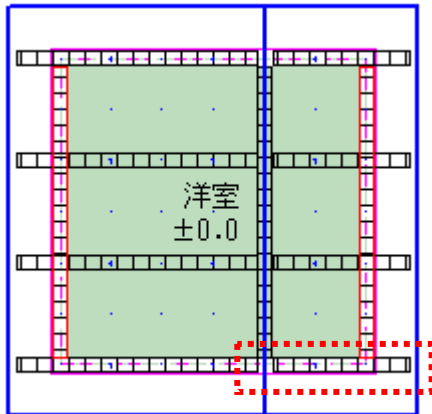
梁以外の部材が表示されている場合はクリックして選択状態を解除してください。

[OK]をクリックします。

編集する梁部材が選択されていることを確認します。



立面に切り替え、登り梁の状態を確認します。
登り梁の終点 Z 座標を下げる必要があることが確認できます。

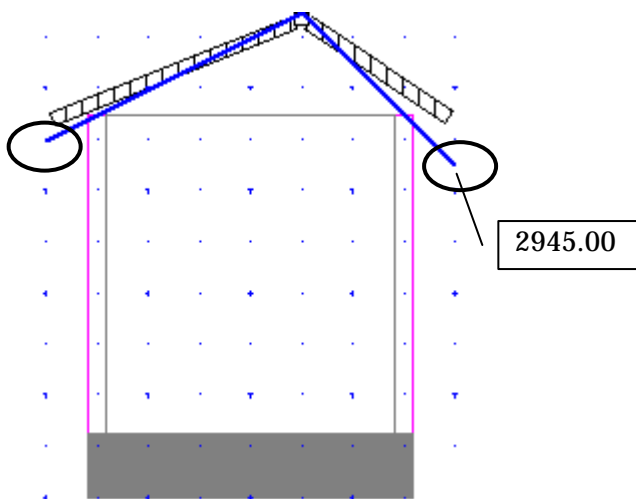


方法2「梁プロパティ編集」による方法で登り梁の低い側端部の座標を修正します。

始点 X	-1365.00	始点 X	-1365.00
始点 Y	-3640.00	始点 Y	-3640.00
始点 Z	4310.00	始点 Z	4310.00
終点 X	0.00	終点 X	0.00
終点 Y	-3640.00	終点 Y	-3640.00
終点 Z	3400.00	終点 Z	2945.00

左図に示す梁をクリックし、梁のプロパティを表示します。

梁の始点、終点は入力順で決めますので、必ずしも軒先端が終点になることはありません。予めご確認ください。



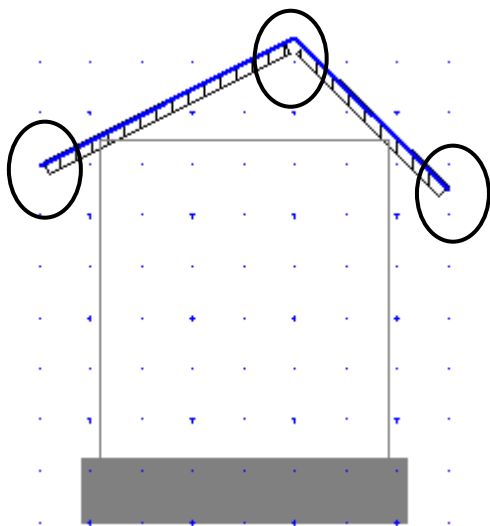
「座標移動機能」で屋根軒先の Z 座標を確認します。
操作手順はステップ をご参照ください。

屋根軒先の Z 座標 = 2945.00
梁のプロパティに梁終点の Z 座標 = 3400.00

「3400.00」を「2945.00」に変更してください。
差分値ではなく、Z 座標を直接指定します。

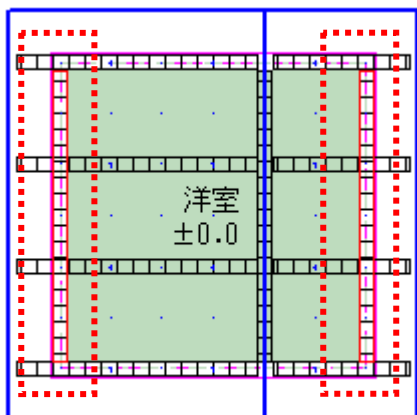
「更新」をクリックし、プロパティを閉じます。

続いて他の登り梁も同様に編集します。

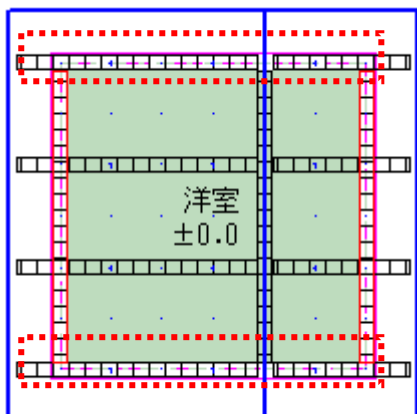


立面に切り替え確認できます。

左3箇所の上座標は完全一致しているかを確認してください。



登り梁を受ける軒桁を入力します。
左図に示す2箇所に梁を入力します。

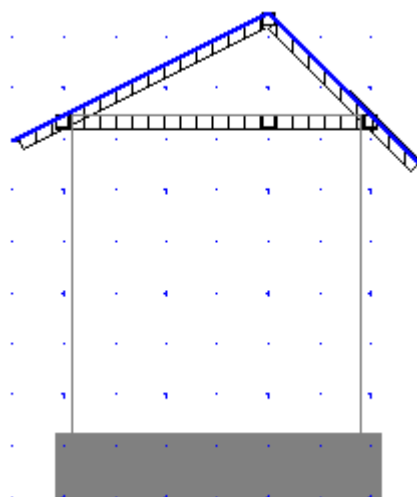


登り梁と重なる下の小屋梁を入力します。
左図に示す2箇所に梁を入力してください。

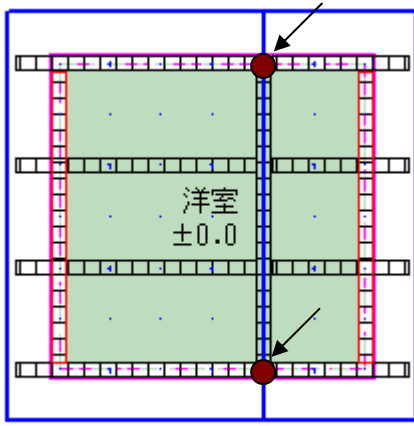
「ツールバー」の「重複編集」ボタンを解除してから、入力します。



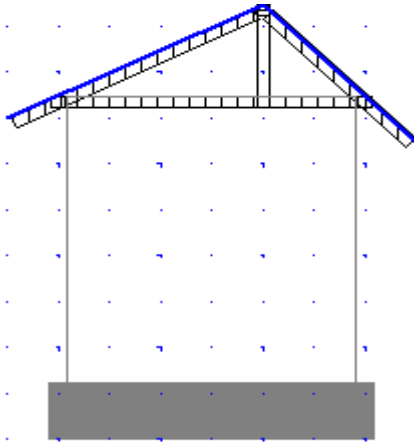
「ツールバー」に「重複編集」ボタンがない場合は「表示」メニューの「ツールバー」「編集バー」を選択して表示させてください。



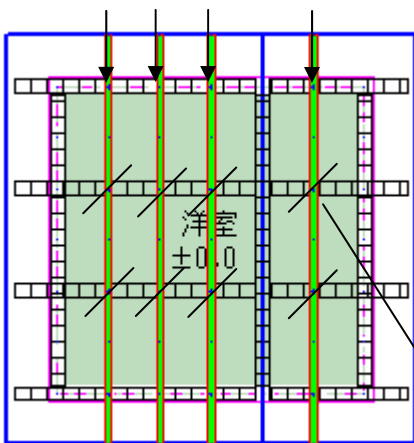
立面に切り替えて梁の配置を確認します。



棟木を受ける小屋束を入力します。
 「上部構造」タブの「小屋束」アイコンをクリックし、左図に示す場所に入力します。



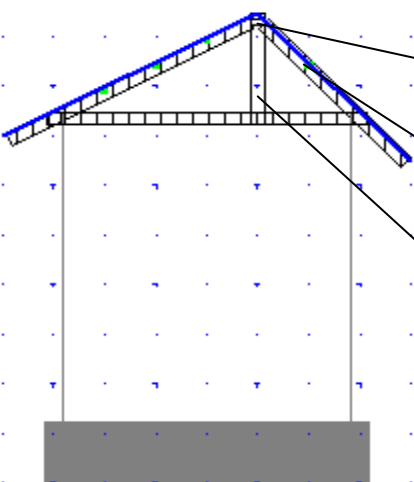
立面に切り替えて、小屋束の状態を確認します。



ダミーの母屋を入力します。「上部構造」タブに「母屋」アイコンをクリックし、左図の示す場所に母屋を入力します。

母屋は勾配梁の位置で分断して入力します。
 母屋を受ける小屋束の入力は不要です。

ここで切断して入力



入力完了

登り梁の上端を受ける棟木は梁で入力します。
 母屋で梁を受けることはできません。

屋根の流れ方向と平行する勾配梁は荷重を受けられないので、ダミーの母屋を介して荷重を伝達します。

合掌造りに対応していないので、棟木を受ける小屋束は必ず入力してください。

以上